

2022年度 第3回創発セミナー
第8回酵母コンソーシアム（ハイブリッド開催）
“持続的な弱いストレス”への細胞の環境適応戦略

大隅基礎科学創成財団では、基礎科学への研究支援とともに、研究者と社会との連携を通して文化としての基礎科学を確立することを目指しています。モデル生物として分子細胞生物学の研究対象とされてきた酵母は、人類が有史以来、発酵や醸造などで利用してきた微生物でもあります。本財団の「酵母コンソーシアム」では、酵母を用いる生産現場と研究者との情報共有と交流による新たな連携の構築を目指しています。

酵母コンソーシアムの第8回セミナーとなる今回は、“ストレス”を取り上げることにしました。ただし“ストレス”と言っても通常は認識されないレベルの“弱いストレス”です。従来から、酵母を用いた“ストレス”研究は多数ありますが、その多くが、酵母の生育・生死に大きな影響を及ぼす“強いストレス”についてでした。今回、石川冬木氏には、酵母と哺乳類細胞を用いた研究から明らかになりつつある“弱いストレス”に対する獲得耐性とその分子メカニズムについてご紹介いただきます。一方、醸造過程において酵母は、自ら生産したエタノールからの“ストレス”に適応しています。井沢真吾氏には、醸造過程で酵母自らが作り出したエタノールからのストレスについてお話いただきます。お二人の講師からの話題提供と大隅良典理事長も交えたディスカッションを通して、創発に向けたアカデミア、企業との間の新たな連携を目指す本セミナーに、是非ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

【日時】2022年11月17日(木) 16:00～19:00（受付 15:45～16:00）

【開催形式】Zoom オンライン

※講演は未発表の情報を含む場合がありますので、オンラインスクリーンの撮影や録音による保存はお控えください。

【プログラム】

16:00 -16:10 理事長挨拶 大隅良典（財団理事長）

16:10 -16:20 はじめに 阪井 康能 氏（財団理事、京都大学大学院農学研究科 教授）

「“創発”と“パスツール型研究”について」

16:20 -17:10 講演と Q&A 石川 冬木 氏（京都大学大学院生命科学研究所 教授）

「弱いストレスへの細胞応答」

17:10 -18:00 講演と Q&A 井沢 真吾 氏（京都工芸繊維大学応用生物学系 准教授、財団フェロー）

「なぜ酵母はエタノールを作り続けられるのか？」

18:00 -18:10 休憩

18:10 -19:00 フリーディスカッション/交流会

講師への質問、その他雑談を含めて交流していただける場にしたいと思います。

お時間の許す方は飲物等ご準備いただきお気軽にご参加ください。

【参加費】無料

【申込：事前登録制】以下の URL よりお申し込みください。

ご登録いただくメールアドレス宛に、参加のための URL を送付します。

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZwsdeivpzgjE9Kcm-HFr3t4i2Xcu4-5gP8J>

【お問い合わせ先】

公益財団法人 大隅基礎科学創成財団 大竹・福田・竹島

TEL：045-459-6975, FAX：045-459-6976, E-mail：event@ofsf.or.jp